



トップインタビュー2023 北日本新聞掲載

2023年1月4日朝刊号

北日本新聞トップインタビュー2023へ

弊社代表取締役社長 花畑佳史の記事が掲載
されております。

『おいしさと安定供給へ努力』というテーマで
昨年度を振り返るとともに、2023年への意欲を
語っております。

以下URLからもご覧いただけます。

ぜひご一読ください。

[株式会社ウーケ | 北日本新聞トップインタビュー
2023 \(webun.jp\)](http://webun.jp)



株式会社ウーケ 代表取締役社長 花畑 佳史 氏

座右の銘 「日日に新たなり」

おいしさと安定供給へ努力



—コロナ禍を機に更にパックご飯の需要が高まっている。

果ごもりや備蓄、在宅療養者向けの需要が依然として高く、当社もフル稼働で年1億1千5百万食を生産している。従業員が感染予防に努め、おかげさまで昨年はラインを止めずに安定供給の責任を果たすことができた。便利さとおいしさが知られるようになり、パックご飯は男女問わず幅広い年代に利用されている。市場は2025年まで年6%ずつ伸びると予想されており、当社もそれに対応する体制づくりが求められている。一方で国内における米の消費量は1人当たり年50キロで、ピークだった1962年の118キロから半減している。パックご飯の製造販売を通じて日本の伝統文化である米を守っていくのが使命だ。それが自給率向上や美しい水田景観の維持にもつながる。

—テレビ番組や週刊誌が行ったパックご飯のおいしさをランク付けする企画でウーケの商品が1位に選ばれ、品質の高さに注目が集まっている。

私たちはコメ卸最大手・神明グループの一人員であり、米を専門に手掛けている。品質にこだわってきた自信があるので評価していただけたのはうれしい。名水百選「黒部川扇状地湧水群」の水を使用し、従業員が品質向上の努力を重ねてきた成果だと思う。テレビショッピングの特番では「入善町こしひかり」が1日で百万食も売れるが、購入者の大半がリピーターだ。

—昨年11月に設立15周年を迎えた。

しっかり足固めをして次のステージに進みたい。マーケティングと商品開発に力を入れており、「簡単便利」という特長を生かして在宅介護の負担を軽減するお年寄り向けの新品目を準備している。昨年は地域貢献の一環として、3年ぶりに開催された黒部名水マラソンでパックご飯を参加者にプレゼントした。今年は6月下旬に富山市で開かれる食育推進全国大会にも出展して米の魅力を発信していく。



黒部名水マラソンの参加者にパックご飯を手渡すスタッフ

